

改正後の試験方法の具体的方向性

第一次試験

	現 行				改正後			
試験科目	問題の種類	試験方法 (択一式)	試験 時間	配点	問題の種類	試験方法 (択一式)	試験 時間	配点
基礎科目	科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題 1. 設計・計画に関するもの〔設計理論、システム設計等〕 2. 情報・論理に関するもの〔アルゴリズム、情報ネットワーク等〕 3. 解析に関するもの〔力学、電磁気学等〕 4. 材料・化学・バイオに関するもの〔材料特性、バイオテクノロジー等〕 5. 技術関連〔環境、エネルギー、品質管理、技術史等〕	出題は左記 5 分野各 5 問計 25 問出題 解答は左記 5 分野各 3 問計 15 問解答	1 時間	15 点	科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題 1. 設計・計画に関するもの〔設計理論、システム設計、品質管理等〕 2. 情報・論理に関するもの〔アルゴリズム、情報ネットワーク、等〕 3. 解析に関するもの〔力学、電磁気学等〕 4. 材料・化学・バイオに関するもの〔材料特性、バイオテクノロジー等〕 5. 環境・エネルギー・技術に関するもの〔環境、エネルギー、技術史等〕	出題は左記 5 分野各 6 問計 30 問出題 解答は左記 5 分野各 3 問計 15 問解答	1 時間	15 点
共通科目	技術士補として必要な共通的基礎知識を問う問題 (理科系統の学士の学位を有する者等は免除)	5 科目 (数学、物理学、化学、生物学、地学)のうち 2 科目選択 1 科目 20 問出題 全問解答	2 時間	20 点×2 科目	廃止（基礎科目に統合）			
適性科目	技術士法第四章の規定の遵守に関する適性を問う問題	15 問出題 全問解答 解答	1 時間	15 点	技術士法第四章の規定の遵守に関する適性を問う問題	15 問出題 全問解答 解答	1 時間	15 点
専門科目	当該技術部門に係る基礎知識及び専門知識を問う問題	35 問出題 25 問選択 解答	2 時間	50 点	当該技術部門に係る基礎知識及び専門知識を問う問題	35 問出題 25 問選択 解答	2 時間	50 点

※JABEE 認定学士課程は免除

※JABEE 認定学士課程に加えて修士課程も免除

第二次試験

＜筆記試験＞

（総合技術監理部門を除く技術部門）

	現 行				改正後			
試験科目	問題の種類	試験方法	試験時間	配点	問題の種類	試験方法	試験時間	配点
必須科目	「技術部門」全般にわたる論理的考察力と課題解決能力	記述式 600 字詰用紙 3 枚以内	2 時間 30 分	50 点	「技術部門」全般にわたる 専門知識	択一式 20 問出題 15 問解答	1 時間 30 分	15 点
選択科目	「選択科目」に関する専門知識と応用能力	記述式 600 字詰用紙 6 枚以内	3 時間 30 分	50 点	「選択科目」に関する専門知識と応用能力	記述式 600 字詰用紙 4 枚以内	2 時間	50 点
選択科目 （新設）					「選択科目」に関する課題解決能力	記述式 600 字詰用紙 3 枚以内	2 時間	50 点
筆記試験 合格者	技術的体験論文の提出				廃止 ・ 受験申込み時に提出する業務経歴票を見直し			

※択一式試験の成績が合否決定基準に満たない者については、記述式試験の採点を行わない（平成 27 年度試験から）。

（総合技術監理部門）

	現 行				改正後			
試験科目	問題の種類	試験方法	試験時間	配点	問題の種類	試験方法	試験時間	配点
必須科目	「総合技術監理部門」に関する課題解決能力及び応用能力	択一式 40 問出題 全問解答	2 時間	50 点	「総合技術監理部門」に関する課題解決能力及び応用能力	択一式 40 問出題 全問解答	2 時間	50 点
		記述式 600 字詰用紙 5 枚以内	3 時間 30 分	50 点		記述式 600 字詰用紙 5 枚以内	3 時間 30 分	50 点
筆記試験 合格者	技術的体験論文の提出				廃止 ・ 受験申込み時に提出する業務経歴票を見直し			

＜口頭試験＞

（総合技術監理部門を除く技術部門）

現 行			改正後		
試問事項	配点	試験時間	試問事項	配点	試験時間
I．受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容と応用能力 ・技術的体験論文と業務経歴により試問		4 5 分	I．受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容と応用能力 ・筆記試験における答案と業務経歴により試問		2 0 分 ・10 分程度延長可
①「経歴及び応用能力」	40 点		①「経歴及び応用能力」	40 点	
II．必須科目及び選択科目に関する技術士として必要な専門知識及び見識					
②「体系的専門知識」	20 点				
③「技術に対する見識」	20 点				
III．技術士としての適格性及び一般的知識			II．技術士としての適格性及び一般的知識		
④「技術者倫理」	10 点		②「技術者倫理」	10 点	
⑤「技術士制度の認識その他」	10 点		③「技術士制度の認識その他」	10 点	

（総合技術監理部門・必須科目）

現 行			改正後		
試問事項	配点	試験時間	試問事項	配点	試験時間
I．受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容と応用能力 ・技術的体験論文と業務経歴により試問		3 0 分	I．総合技術監理部門の必須科目に関する技術士として必要な専門知識と応用能力 ・筆記試験における答案と業務経歴により試問	60 点	2 0 分 ・10 分程度延長可
①「経歴及び応用能力」	40 点				
II．必須科目に関する技術士として必要な専門知識及び見識					
②「体系的専門知識」	20 点				
③「技術に対する見識」	20 点				
III．技術士としての適格性及び一般的知識					
④「技術者倫理」	10 点				
⑤「技術士制度の認識その他」	10 点				